



MONTRE 2019

<https://rally-montre.com>



公式通知 No.05

発行日時：2019年6月7日 9:00	文章番号：1-05
宛先：JRC/EJRC全参加者	ページ数：1
発行者：競技長	添付資料：なし

発行内容：ブリーフィング資料

- ①スペシャルステージで参加車両がやむを得ず停車した場合、クルーはその場所から少なくとも50m手前の車両が停車している側に反射式の三角表示板を配置し後続車両に適切な合図を行わなければならない。
なお車両がコース上にない場合も三角表示板を配置しなければならない。この規則に従わないクルーは審査委員会の判断によりペナルティが課される。
- ②参加車両には、片面に赤字で「SOS」、もう片面には緑字で「OK」と書かれたA3判のカードが搭載されており、救急医療措置が不要な場合もしくは消火が必要な場合は、「OK」ページを少なくとも3台の後続車両に明瞭に提示すること。また他に援助を行おうとしている者(ヘリコプター等)があれば、それらに対しても同様に提示すること。停車車両がコース上の場合は、状況に応じて停車状態をボディアクション等で後続車両に対し当該区間最終参加車両通過まで合図すること。
- ③その後速やかに復帰が可能か否かを判断すること。
- ④復帰可能と判断した場合、安全確保を最優先に作業を実施する。特に後続車両が接近した場合は、作業を中断し安全な場所へ退避すること。
- ⑤復帰不可能と判断した場合、当該区間最終参加車両通過まで車外の安全な場所で退避すること。
- ⑥クルーが車両から離れる場合は、後続車にははっきりと見える場所に「OK」ページを提示しておくこと。
- ⑦近接した地点に複数車両が停止した場合、それぞれの車両が上記1)～6)を実施すること。
- ⑧救急医療措置が必要な場合もしくは消火が必要な場合は赤色の「SOS」ページを提示すること。これが提示されていた場合、後続車は下記の手順に従う。また「OK」「SOS」のどちらの提示もなく、車両がかなりのダメージを負っていてクルーが車両内にいると思われる場合も同様の手順に従うこと。
 - a.援助するために直ちに停止する。その他の後続の車両も停止し、事故現場に2番目に到着した車両は、事故のことを知らせるために次のラジオポイントまで行く。
 - b.それ以降の後続車は緊急車のための車幅をあけて停止し、援助を行う。
- ⑨リタイヤしたクルーは、リタイヤ届を必ずオーガナイザーに提出しなければならない。この規則に従わないクルーは審査委員会の判断によりペナルティが課される。
- ⑩スペシャルステージにおいて、参加車両がコースを塞ぎ、後続の車両が通過できない場合は、以下の措置とする。
 - a.コースを塞いだ参加車両はオフィシャルによりコースより排除される。
 - b.後続の車両は通行可能となったら、フィニッシュまで安全かつ速やかに進むこと。
 - c.後続のクルーは安全を確認の上、スタック車両の排除の協力を行なうこと。

審査委員会(署名)

MONTRE2019

審査委員長 三浦野正治

競技長 藤 敏

審査委員 藤原篤志

審査委員 小口貴久

2019年6月7日 8時50分

2019年6月7日 8時40分